

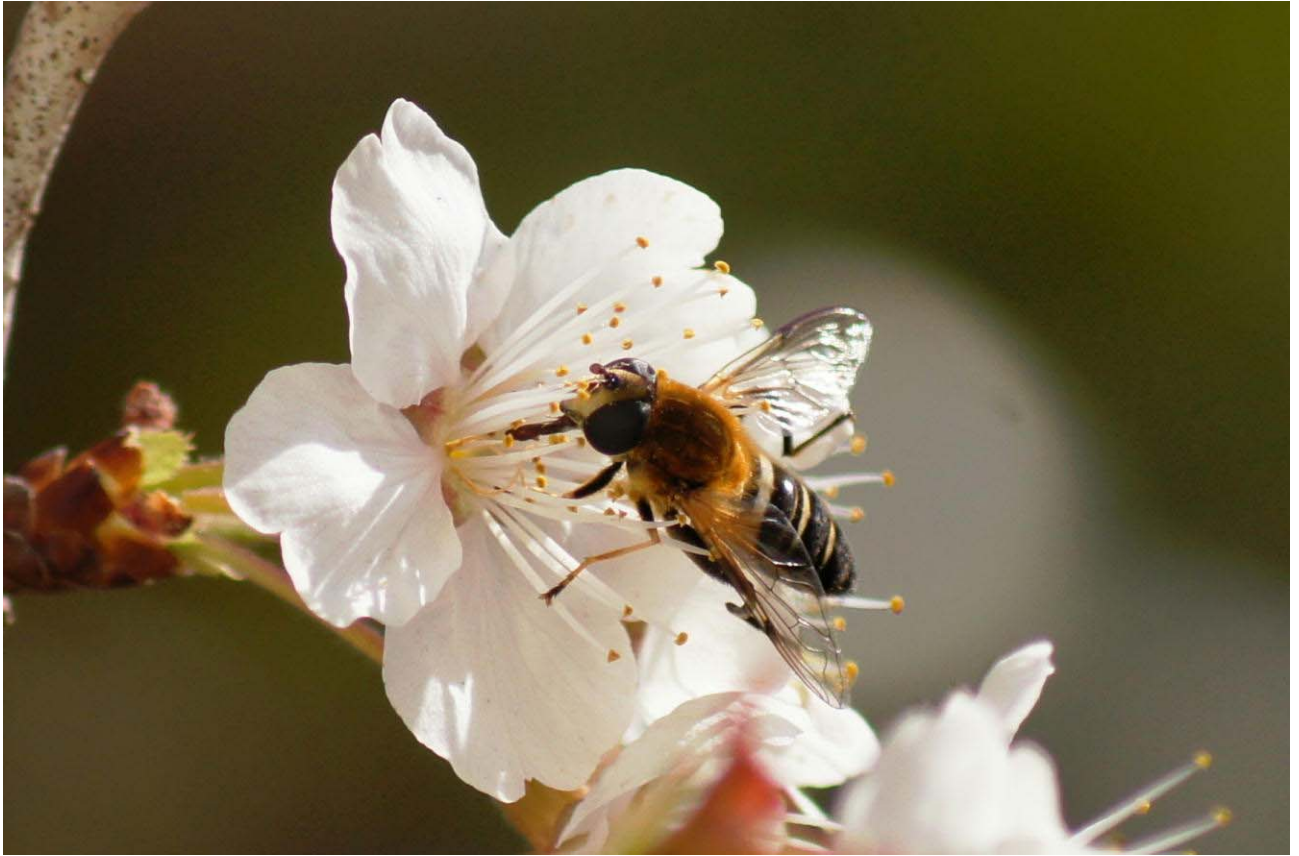
牛久：学校周辺に見る自然

第7号 宮内家（稲敷市）

2012年5月10日発行

＜ サクランボの花に来たアシブトハナアブ ～宮内家の庭から ＞

もう一つ、おまけで、サクランボに来たアシブトハナアブの紹介です。



この写真を見て、「あっ、ハチだ！」って思った人はいませんか？ とてもよく似ていますね。でもこれは、ハチの仲間ではなくハナアブの仲間。見た目はハチ、名前は「～アブ」ですが、ハチやアブよりもハエに近い仲間なのです。では、ハチとどこが違うのでしょうか？ おもな違いをみると、

- ①ハチは胸部と腹部の間がくびれていて、スマートな感じがしますが、ハナアブはずん胴です。
- ②ハチは触覚が長めで（体長と同じくらい長いものもいる）、複眼は小さめです。
- ③ハチは翅が4枚ですが、ハナアブは2枚しかありません（ハチの場合閉じていると分かりにくい）。そして、ハナアブには針がありませんから、刺されることもありません。 【理科支援員：宮内】



↑ 「ハエが手をする足をする」～頭や口吻についた花粉を、前あしで落としている。